

NO.消費税

2024.12
第400号

発行 消費税をなくす全国の会

〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201
TEL 03-3940-0401 FAX 03-3949-9885

●郵便振替 00130-2-16922 ●1部170円(送料共) *1999年1月18日 第3種郵便物認可
●ホームページ <http://no-shouhizei.com/> *2024年11月25日発行(毎月25日発行)



- 目次 ●
- | | |
|------------------------------------|---|
| 「国が民を捨ててはいけない」消費税減税、インボイスは廃止…… (1) | 現代、税のたたかい(山形県西村山郡 町民の要求から～高過ぎる国保税の軽減を実現!) … (6) |
| 総選挙～自公与党が過半数割れ …… (3) | エッセー(価格決定権もたない側を苦しめる消費税) …… (7) |
| 東西南北(各地の取り組み) …… (5) | みんなの声 …… (7) |
| | ノ一消費税400号に寄せて …… (8) |



「国とは、民のしあわせのためにあるべき。国が、民を踏み台にしたり、捨てるなどということは、絶対にあってはならない」。揺るがない信念を持ち続けて活動しているのは、経済ジャーナリストの荻原博子さん。お金の使い方や経済の仕組みを分かりやすく解き明し、テレビやネット番組でも活躍しています。会報「ノ一消費税」12月号は400号を迎えます。消費税の問題から税金の使い方、インボイス制度、マイナ保険証、教育の問題などについて荻原さんに話を聞きました。

400号記念

「国が民を捨ててはいけない」

消費税減税、インボイスは廃止

経済ジャーナリスト 荻原博子さんに聞く

消費税が1989年4月1日から導入されて35年余。数々の問題がある中で、荻原さんが真っ先にあげたのは逆進性の問題。「儲かっていない人から税金を取る。収入の低い人ほど負担が重いことが一番の問題。貧富の差が激しくなる中で、逆進性の強い税金をさらに強化すると、ますます貧富の差が広がる」と声を大にします。さらに導入時の問題も。「最初は消費税の免税点は売り上げ3千万円以下で簡易課税の適用は5億円でした。『皆さんにはそんなにご迷惑をおかけしません』と騙し討ちで導入しましたが、今では免税点は1千万円以下、簡易課税は5千万円以下。変質させていったのが財務省のこざかしさ」とチクリ。

税金の使い方に異議

庶民の暮らしに目を向ければ、

物価高で悲鳴が上がっています。「庶民の台所はすごく痛んでいる。そういう中で国の税収は過去最高を更新しているんですね。2019年58・4兆円から23年は72兆円ですよ。この5年間に14兆円も税収が増えている。その大きな柱になったのが消費税です。世界ではコロナ禍の時に付加価値税を引き下げた国は多い。何故かというところ、国民が困っていたからです。世界では110の国と地域が付加価値税減税に踏み切っています。ところが自公政権は消費税減税を頑なに拒否。荻原さんは税金の使い方にも異議を唱えます。

「がっかりするのは、これだけ税金を取っているが困った時に戻さない。取ったら取りっぱなし。だれのための税金なの? 皆さんから集めた税収を皆さんのために使うのが本来のあり方ですよ。この5年間、14兆円も税収が増えています。でも、適正に使われてきたかというそうではない。自民党の1党支配の中で好き勝手に使われてきました」